

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしは、だあれ	2	自分の知りたいことを明確にして、質問をする。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	・積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習の見通しをもって、自分のカードに書いてある名前をあてようとしている。
春のうた	2	声に出して読んだり、共通点や相違点に気をつけて話したり聞いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・進んで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
白いぼうし	10		・様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において, 登場人物の行動や気持ちなどについて, 叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において, 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・進んで登場人物の気持ちや性格、情景について具体的に想像し、今までの学習を生かして、登場人物になったつもりで日記を書こうとしている。
ぴったりの言葉、見つけよう	7		・言葉には, 考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに, 句読点を適切に打っている。	・「書くこと」において, 相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にしている。	・進んで経験したことや想像したことなどから

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場① 漢字の部首	2		・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		・進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
漢字の広場① 三年生で学んだ漢字①	2		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ぞうの重さを量る	2		・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において, 段落相互の関係に着目しながら, 考えとそれを支える理由や事例との関係などについて, 叙述を基に捉えている。	・粘り強く, 考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え, 学習の見通しをもって, 考える筋道をつかもうとしている。
花を見つける手がかり	10		・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において, 段落相互の関係に着目しながら, 考えとそれを支える理由や事例との関係などについて, 叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において, 目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約している。	・粘り強く, 考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え, 学習の見通しをもって, 結果と結論のつながりを捉えようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
分類をもとに本を見つけよう	4		・考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ, 読書が, 必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	・「読むこと」において, 目的を意識して, 中心となる語や文を見付けて要約している。	・進んで比較や分類の仕方を理解し, 学習の見通しをもって, 分類記号を手がかりに本を探して読もうとしている。
メモの取り方をくふうして聞こう	6		・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において, 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き, 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え, 自分の考えをもっている。	・進んで必要なことを記録したり質問したりしながら聞き, 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え, 学習の見通しをもって, 大切なことを落とさないように聞こうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立宇喜田小学校

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字辞典の引き方	6		・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。		・積極的に辞書や事典の使い方を理解し, 学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。
リーフレットで知らせよう	12		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに, 句読点を適切に打っている。	・「書くこと」において, 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくったり, 段落相互の関係に注意したりして, 文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において, 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして, 文や文章を整えている。	・積極的に, 書く内容の中心を明確にし, 文章の構成を考え, 学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
短歌の世界	4		・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・進んで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。
漢字の広場② 漢字の音を表す部分	2		・漢字が、へんやづくりなどから構成されていることについて理解している。		・進んで漢字がへんやづくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題に沿って、「音を表す部分」を漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場② 三年生で学んだ漢字	1		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。
ぞろぞろ	11		・相手を見て話したり聞いたりしていると同時に、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって、落語を音読したり演じたりしようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「夏の思い出」記者になろう	3		・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	・積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、相手の話を引き出す質問をしようとしている。
写真をもとに話そう	4		・相手を見て話したり聞いたりしていると同時に、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	・粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立宇喜田小学校

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新聞を作ろう	5		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているととも、句読点を適切に打っている。 ・考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において, 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして, 文や文章を整えている。	・粘り強く間違いを正したり文章を整えたりし, 学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。
漢字の広場③ 送りがなのつけ方	3		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているととも、句読点を適切に打っている。		・進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い, 学習課題に沿って, 漢字を正しく使おうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
都道府県名に用いる漢字	1		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。
漢字の広場③ 3年生で学んだ漢字③	2		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一つの花	11		・様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにしている。 ・考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「書くこと」において, 相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において, 登場人物の気持ちの変化や性格, 情景について, 場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもっている。	・積極的に, 文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち, 学習の見通しをもって, 心に残った場面をもとに感想文を書こうとしている。
いろいろな手紙を書こう	5		・丁寧な言葉を使っているとともに, 敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	・「書くこと」において, 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして, 文や文章を整えている。	・粘り強く間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認, 学習の見通しをもって, 送る相手や伝える目的に合わせた手紙を書こうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
修飾語	3		・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。		・進んで修飾と被修飾との関係について理解し, 学習の見通しをもって, 修飾語を見つけたり, 修飾語の種類を見分けたりしようとしている。
「ショートショート」を書こう	10		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに, 句読点を適切に打っている。	・「書くこと」において, 相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にしている。	・積極的に, 相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりし, 学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
月のつく言葉	1		・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・進んで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関係する言葉を集めようとしている。
ごんぎつね	12		・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・積極的に、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって物語のポスターを作ろうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「読書発表会」をしよう	6		・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ, 読書が, 必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	・「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 学習の見通しをもって, 「読書発表会」で本を紹介しようとしている。
言葉が表す感じ, 言葉から受ける感じ	5		・言葉には, 考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において, 相手に伝わるように, 理由や事例などを挙げながら, 話の中心が明確になるように話の構成を考えている。	・進んで, 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし, 学習課題に沿って, 言葉がもつイメージについて考えようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新スポーツを考えよう	8		・考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において, 目的や進め方を確認し, 司会などの役割を果たしながら話し合い, 互いの意見の共通点や相違点に着目して, 考えをまとめている。	・積極的に目的や進め方を確認し, 司会などの役割を果たし, 学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。
漢字の広場 ④ いろいろな意味を表す漢字	2		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い, 学習課題に沿って, 漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場 ④ 三年生で学んだ漢字 ④	2		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
ウミガメの命をつなぐ	9		・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・積極的に、目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約し、学習の見通しをもって、本教材の紹介文を書こうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二つのことがらをつなぐ	3		・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。		・進んで接続する語句の役割について理解し, 学習の見通しをもって, 接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。
「不思議ずかん」を作ろう	8		・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・	・「書くこと」において, 相手や目的を意識して, 経験したことから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において, 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして, 文や文章を整えている。	・積極的に, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し, 学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
故事成語	2		・長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使っている。	・「書くこと」において，自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。	・積極的に，長い間使われてきた故事成語の意味を知り，学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
詩を楽しもう いろいろな詩	2		・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において，登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。	・進んで，詩を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち，学習の見通しをもって発表し合おうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場⑤ 熟語の使い方	3		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。
漢字の広場⑤ 三年生で学んだ漢字⑤	1		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書くようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身のまわりの「便利」なものを考えよう	1		・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	・進んで、目的を意識して日常生活の中から集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって、クラス全体やグループで話し合おうとしている。
便利ということ	8		・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、「便利」について考えたことを文章にまとめようとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調べてわかったことを発表しよう	8		・【】比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において, 話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫している。	・積極的に, 話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫し, 見通しをもって調べたことを発表し合おうとしている。
点(,)を打つところ	4		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているととも、句読点を適切に打っている。		・進んで句読点のはたらきを理解し, 学習課題に沿って, 文や文章の中で適切に使おうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の成長をふり返って	11		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているととも、句読点を適切に打っている。 ・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。	・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において, 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして, 文や文章を整えている。 ・「書くこと」において, 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けている。	・積極的に, 書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い, 学習の見通しをもって, よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。
雪	3		・長い間使われてきたことわざや慣用句, 故事成語などの意味を知り, 使っている。	・「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。	・進んで, 長い間使われてきた「雪」に関わる言葉の意味を知ろうとし, 学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立宇喜田小学校

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け	3		・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているととも、句読点を適切に打っている。		・進んで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し, 学習課題に沿って, 文や文章の中で正しく使おうとしている。
漢字の広場⑥ 三年生で学んだ漢字 ⑥	1		・前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	・「書くこと」において, 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくったり, 段落相互の関係に注意したりして, 文章の構成を考えている。	・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い, 学習課題に沿って, お話の一場面を書こうとしている。

教科	国語	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
木竜うるし(人形げき)	8		・相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、脚本を物語のように書きかえようとしている。
国語の学習これまでこれから	2		・相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	・進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。